

# 中 守 破 離



令和5年7月13日(木) 第14号

うねたに よしあき

## 采谷義秋～悲運を乗り越えて～

部活動，最後の大会にむけて



いよいよ1学期も残り1週間となりました。夏休みがすぐそこまで来ています。21日(金)24日(月)の三者懇談会で渡される1学期の通知表のことが気になるところです。それと同じように、3年生にとって気になるのが、夏休みにある部活の大会ですね。中学校での部活動がいよいよ最後の時をむかえます。

さて、みなさんは、呉出身でオリンピックマラソン代表に選ばれた采谷義秋うねたによしあきさんのことを知っていますか？。呉市広長浜町出身で、昨年11月5日に78歳で亡くなりました。采谷さんは、高校時代から全国高校駅伝で活躍し、大学時代には箱根駅伝に3度出場、3年生の時には第8区の区間賞に輝きました。また、2年の時に初マラソンの中日福井マラソン大会でいきなり優勝し、翌年には延岡西日本マラソンで優勝しました。

大学卒業後は、広島に戻って高校の体育教師をしながらマラソンを続けました。勤務先の竹原から呉の自宅まで約40キロを走って帰宅したり、放課後には陸上部員とともに走り込んだりするなど、たった一人で努力を重ねながら、様々な大会で実績を上げていった采谷さんは、1968年のメキシコオリンピックのマラソン代表候補に選ばれました。

しかし、最終選考では、記録的には采谷選手よりもタイムの遅かった選手が代表に選ばれ「悲運のランナー」と呼ばれることになりました。数年前、ある人が采谷さんに「落選という結果を聞いた時、どんな気持ちでしたか？」と尋ねました。すると、采谷さんはじっと考えたあと、思い出すようにこう答えられたそうです。



「悔しかった。けれども、次の朝、ぼくは走っていました。いつもどおりに」

采谷さんは、その後も教師をしながら練習を続け、翌年、第73回ボストンマラソンに出場し大会新記録で優勝します。この活躍で采谷さんは「次のオリンピックの本命」と騒がれ、カネボウ・神戸製鋼・東洋工業・旭化成といった陸上競技の強豪チームから誘いを受けました。しかし、生徒たちへの愛着から教師として競技を続ける道を選び練習を続け、4年後のミュンヘンオリンピックで、ついに悲願のオリンピック出場を果たしました。

中学校の部活動最後の日々…。最後までやりぬくことが自分の未来につながります。

# 夏季休業中の部活の大会予定

## 広島県中学校選手権大会

陸上部	7月21日(金)	エディオンスタジアム広島
水泳部	7月22日(土)～23日(日)	福山通運ローズアリーナ

## 呉市中学校選手権大会

陸上部	7月22日(土)～23日(日)	ミットヨスポーツパーク郷原
ソフトテニス部	7月27日(木)	ミットヨスポーツパーク郷原
剣道部	7月29日(土)	シシンショーオークアリーナ
軟式野球部	7月30日(日)～8月3日(水)	鶴岡一人記念球場
バスケットボール部	7月31日(月)～8月1日(火)	シシンショーオークアリーナ
サッカー部	8月5日(土)～8月6日(日)	ミットヨスポーツパーク郷原

## 吹奏楽部

夏の演奏会	7月28日(金)	呉信用金庫ホール
広島県中学校吹奏楽コンクール	7月29日(土)	広島文化学園HBGホール



○大会のくわしい日程や集合時間等については、各部活顧問からの連絡でご確認ください。

## 保護者の皆様へ

7月12日(水)の中国新聞で報道された通り、呉市立学校では今年4～6月で16件の交通事故が発生しました。これは過去5年間で最多だった2020年の年間発生件数をすでに上回っています。登下校中の事故が11件と多く、中高生の事故は6件ですが半分の3件は自転車での事故です。学校外での生活が増える夏休み。事故を起こしたり巻き込まれたりすることがないように、学校でも指導いたしますが、ご協力をお願いします。